



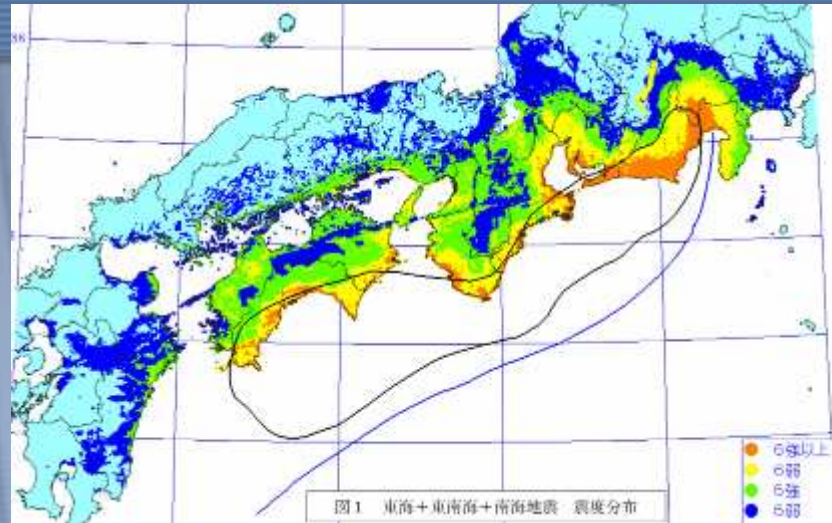
# 防災ユースフォーラム

2005. 3.12 - 13 in Shizuoka

## 実施結果報告

防災ユースフォーラム実行委員会 2005.06.18

# 日本における地震の危険性



東海・東南海・南海地震連動時の震度

- ◆ 南海トラフの巨大地震  
死者2万人  
全壊10万棟  
被害100兆円  
(阪神淡路の10倍)



新潟県中越地震の被害

- ◆ 併せて起こる内陸地震  
都市直下／想定できず  
局地的大被害  
現代社会の脆さ

→地震防災は喫緊の課題

# 防災対策の新たな視点「学生の力」



啓発を行う上でのキーパーソン



大学生による防災訓練の例

- ◆ 自助、共助を引き出すための意識啓発が必要
- ◆ 啓発を行う人間がとにかくたくさん必要！
- ◆ 学生による自主的な活動の広がり
- ◆ 自分 + 地域を守る  
→ **災害時要援護者から  
防災上の戦力へ！**

# 学生による防災活動の現状と課題

- ◆若い団体が多い ⇔ 歴史が浅い
- ◆勢い・チャレンジ精神がある ⇔ 安定性が無い
- ◆特定分野に専門性が高い ⇔ 意外と視野が狭い
- ◆技術・知識・組織力が未成熟
- ◆社会的認知が弱い(支援が薄い)
- ◆地域を越えたつながりが希薄
- ◆結果として活動のマンネリ化・モチベーションの低下

# 防災ユースフォーラムとは？

- ◆元々は防災・災害救援に取り組む学生を中心とした集まり
- ◆普段の活動  
メーリングリストによる情報交換／OFF会  
学習・活動発表を目的としたイベント実施(後述)
- ◆しかしてその実態は？  
緩やかなネットワーク／基本は各地域での個々の活動  
今や防災以外の分野、おっさん、高校生、何でもあり

# イベントの実施

## ◆ 第一回

2004年9月11日、12日

名古屋大学災害対策室 地域交流ホール

## ◆ 第二回

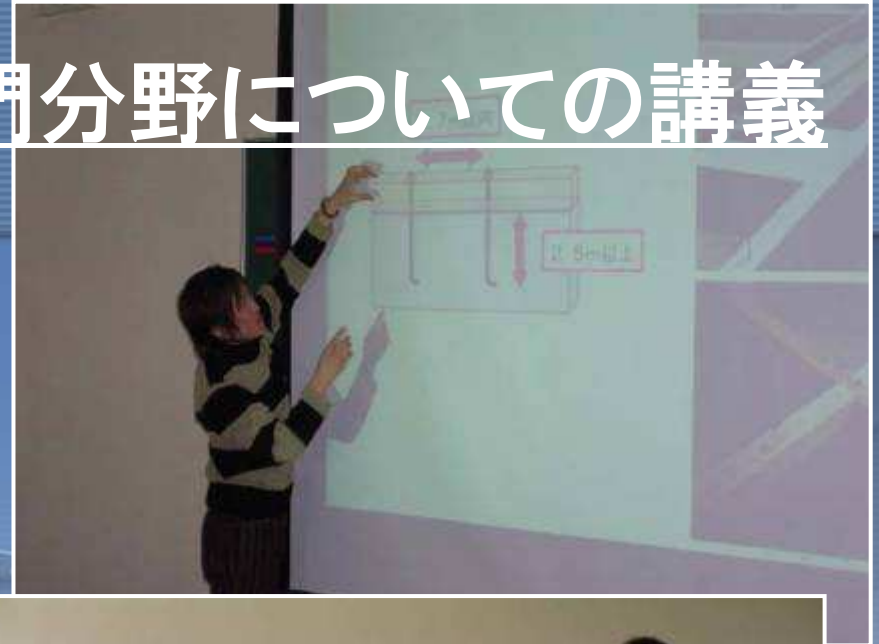
2005年3月11日、12日

静岡県地震防災センター／静岡大学大谷キャンパス

# 学生同士の交流



# 専門分野についての講義



地元静岡高校の生徒も講義に参加した

# 静岡県地震防災センター一見学



上:木造住宅の耐震補強例 下:津波ドームシアター



# ゲームによる震災体験



# 災害時の対応を議論



# 成果と課題

- ◆ ユースの成長、後輩の育成  
イベント運営による実務能力の向上  
セッション実施によるプレゼン能力の向上
- ◆ 新たなユースの発掘：地域、分野、世代を超えて
- ◆ ユース主体ゆえの金銭的制約  
※ 今回の運営資金の8割は助成金、残りは自腹
- ◆ 広域・フリーなネットワークであるがゆえの制約  
一様な目的設定と明確な評価が困難  
システムティックな運営・意思決定が困難

# フォーラムの今後

- ◆フォーラムは出入り自由な「場」であり、そこで知り合った仲間同士で新たな実働グループを結成

一般市民向け  
大規模防災イベント実施

防災ユースフォーラム  
(プロジェクト叢生の場)

災害時の  
協働体制構築

愛知万博への企画出展

社会貢献プログラムと運営グループの派生



ソニーマーケティング 学生ボランティアファンド  
助成団体による活動報告会

# ソニーマーケティングとは

- ◆「ソニーマーケティング学生ボランティアファンド」  
SONYの社会貢献事業として、学生活動を金銭的支援  
審査・協力：明治学院大学
- ◆応募数97件(有効案件)のうち、22団体に助成金支給  
防災ユースフォーラムは25万円獲得  
+ 上位5団体のひとつとして報告会でプレゼン

報告会交流パーティーの様子



# プレゼンの様子



ポスター発表もやりました

# 発表を終えて フォーラムのこれまでの総括①

## ◆弱点

準備：分業が出来ておらず、計画性が皆無

行動：統率・役割分担などとは無縁の団体

責任：主体性があるのは一部だけ

## ◆なぜか？

ひとつはフォーラムに対するモチベーションの違い  
義理、人情、責任感、宣伝、学習、友達、趣味etc...

◆「良くも悪くもこれがユースフォーラム」と思ってきたが。

## 発表を終えて フォーラムのこれまでの総括②

- ◆「ともあれ、我々は優れた団体であると自負する」  
防災の広域学生ネットワークはインカレ唯一  
ネットワーク団体としては、持続力、成長力がある  
ソニマも認めた独自性・優位性  
げにわれらは仲睦まじく

- ◆フォーラムの良さを活かしつつも  
ドラスティックな改革を！



続々と仲間が増えています

# 今後に向けて(提案)

## ◆ 国連をイメージした運営体制



## ◆ 今後のキーワード

「世代交代」: まずは自分の団体内でのユース育成

「3年後のビジョン」: 我々は何を目指すのか考える

「フォーラムの色(カラー)」: 毎回のイベントにテーマを  
→マンネリ化防止(災害抑止?)